超簡単、売上入力フォームの作成

平成 19 年 1 月 10 日 有限会社ビット 浦 秀樹

はじめに

ビットの解説ドキュメントをダウンロード下さいまして誠にありがとうございます。 このドキュメントは、Accessをより活用したいとお考えの皆様に書き上げました。 ドキュメントの内容に沿ってプログラムを体験するだけで、知らず知らずに Access が修得でき る、そういったものを目指しました。

=	売上メイン								
•	新規入力	前除 行挿入		IJ		閉じる			
	伝票番号 1007 売上日 2007/01/12 担当者 10 ▼ 王								
	得意先 100 ✔ 山田太郎								
				· <u>227</u> +	金 ————————————————————————————————————	額合計 149,600			
	商品			山里	単値	金額:			
	1000		I. 10	습	12,000.	120.000			
	1002		2.	台	9,800	19,600.			
	*		0.		0.				
μ	⊐−ŀ: 🚺 🔳								

これから作成しようとする売上入力フォーム

データベースの作成

最初にデータベースの作成を行う。データベースの作成手順は次の通り。

1. 新しいデータベースを作成するには Access ウインドウの[新規作成]アイコンをクリックする。

🖉 Microsof	it Acces	s						
: ファイル(E)	編集(E)	表示♡	挿入仰	ツール①	ウィンドウѠ	ヘルプ(円)		
R 🖉 🛛	1	ABC S	X 🖬 I	8 9 -	₩ - # -	1 🖄 👀 🖻	日昭名	- 🕜 📮
い 新規作成								

2. Access ウィンドウ右横の[空のデータベース]をクリックする。



3. [新しいデータベース]画面でファイル名を任意に付けて[作成]ボタンをクリックすると



作成されたデータベースウィンドウが表示される。
 これでデータベースの作成が完了。



テーブル設計

次にテーブル設計だが、テーブルを設計する前に売上入力画面を手書きでもかまわないから下書 きしてみよう。この下書きが書けないのならテーブル設計は不可能だ。 これから作成しようとする売上入力画面のイメージがはっきりしたらテーブル作成に取り掛かる。

 データベースウィンドウで[テーブル]オブジェクトを選択して、[新規作成]ボタンをクリック すると[新しいテーブル]ダイアログが表示される。
 [デザインビュー]を選択して[OK]ボタンをクリックする。

👜 uriage :データ/	ペース(Access 2002 - 2003	ファイル形式) 📃 🗖 🗙	
┌──□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	>([]] 11111111111111111111111111111111111		
オブジェクト	デザインビューでテーブルを作用。 の、ボ・ドキ/専用にこう、ゴレ	新しいテーブル	? 🛛
	ジェックトのことを見用してリーブルを付ける		データシート ビュー デザイン ビュー
			テーブル りなザード テーブルのインボート
 □ レホート 1 1		データシートビューで新しいテーブル を作成します。	テーブルのリンク
2 マクロ			
🦧 モジュール	ň	·	OK キャンセル
	35		

2. テーブルのデザイン画面で次のようにフィールドを登録する。

2	Mic	roso	ft Acce	ss								
8.7	771,	IV(Ē)	編集(E)	表示♡	挿入Φ	ツール①	ウィンドウ	7₩)	ヘルプ(円)			
: 🗉	•		12 🖉	ABC	X 🖻 🕻	5 - 1	P - S	≣9∕		🕈 🖄	N 🛅	h 🖉 🖉 🔁
		📮 uri		-ቃペース	(Access	2002 -	2003 77	マイル飛	(方)			
		テーフ	ブル1:テ	ーブル								
		/- सम्ब	<u></u>	ド名	デー	翅						
	_	伝宗領	₩5 		剱旭空 日付/時刻	囲						
		得意	モコード		数值型	.) T						
		担当者	ビュード		数値型							
	▶											
	_		Υ									
			1									

[売上メイン]テーブル定義情報

フィールド名	データ型
伝票番号	数值型(長整数)
売上日	日付 / 時刻型
得意先コード	数値型(長整数)
担当者コード	数値型(長整数)

3. 作成したテーブルの[伝票番号]を主キーに設定する。

主キーとは、テーブルのデータを呼び出す際に利用される重要なもので、『同じものが二つと 無い』(重複が禁止される)ことを示すものである。データの呼び出しにはこの主キーを使っ て行われることが多い。

🔊 Mi	icroso	ft Acces	:5						
: 77	(ルŒ)	編集(<u>E</u>)	表示♡	挿入仰	ツール①	ウィンドウ()	♪ ヘルプ(<u>H</u>)	
	•	14	ABC	X 🗅 🕻	<u>⊾</u> ≠) + (- R	9 🔤	• 🚰 🏠	🗖 ⁄a • 🕜
						い 主 ^族 主	p		
	🛄 uri	age:デ	- ቃላ - አ	(Access	: 2002 – :	2003 771	ル形式)		
	肩開	un ba-		11 - Ar 1- 74		10 9-	<u></u>		
	7	<u>■</u> テー:	ブル1:テ	ーブル					
			<u></u>	名	デーク	型			
			野方		一致他空	ITTI I			
		冗工[エード		日17月7時次! 墨柏街开月	E			
		- 旧思。	パレコー I 者 コ ー ド		数值型				
	-8				ANIELE.				
	5								
	•	_							

4. 同様に[売上サブ]テーブルを次のように作成する。今回のこのテーブルには主キーは必要ない。

	■ 売上サブ:テーブル					
	フィールド名	データ型				
►	伝票番号	数値型				
	商品コード	テキスト型				
	商品名	テキスト型				
	数量	通貨型				
	単位	テキスト型				
	単価	通貨型				
	枝番	数値型				

[売上サブ]テーブル定義情報

フィールド名	データ型
伝票番号	数値型(長整数)
商品コード	テキスト型
商品名	テキスト型
数量	数値型(倍精度)
単位	テキスト型
単価	通貨型
枝番	数値型(倍精度)

5. 続いて、担当者マスタ、商品マスタ、得意先マスタを次のように作成する。 印は主キーを意味する

[担当者マスタ]テーブル定義情報

フィールド名	データ型
担当者コード	数値型(長整数)
担当者名	テキスト型

[商品マスタ]テーブル定義情報

フィールド名	データ型
商品コード	テキスト型
商品名	テキスト型
単位	テキスト型
単価	通貨型
課税	Yes/No 型

[得意先マスタ]定義情報

フィールド名	データ型
得意先コード	数値型(長整数)
得意先名	テキスト型
よみ	テキスト型

6. 各テーブルにデータを入力する。

R	💽 担当者マスタ:テーブル					
	担当者コード担当者名					
	10	Ξ				
	11 長島					
	12	金田				
	13	柴田				
]					

	■ 商品マスタ:テーブル								
	商品コード	商品名	単位	単価	課税				
	1000	バソコンΑ 🗍	台	¥10,000					
	1001	バソコンB ^	台	¥12,000					
	1002	バソコンC	台	¥9,800					
	2000	ディスプレイ1	台	¥3,000					
	2001	ディスプレイ2	台	¥3,500					
	3000	ハードディスク1	台	¥5,000					
	3001	ハードディスク2	台	¥6,000					
	3002	ハードディスク3	台	¥7,000					
▶	1			¥O					

■ 得意先マスタ:テーブル							
	得意先コード	得意先名	よみ				
₹	100	山田太郎	やまだたろう				
	101	上島二郎	うえしまじろう				
	102	鈴木一郎	すずきいちろう				
	103	浦秀樹	うらひでき				
	104	長田真一	ながたしんいち				
	105	吉田幸子	よしだゆきこ				
	106	伊藤花子	いとうはなこ				
*	0						

フォーム設計

テーブルが完成したらいよいよ売上入力フォームの作成だ。 ここでは、フォームの中に別フォーム(サブフォーム)を表示する、リレーショナルデータベー スとしては利用価値の高いフォームを作成する。

大まかな手順としては、最初にメインフォームを作成し、次にその中で表示されるサブフォーム を作成する。 サブフォームを先に作成するという方法もある。 作成手順は次の通り。

1. データベースウィンドウの[フォーム]を選択して[ウィザードを使用してフォームを作成す る]をクリックする。

M	icrosoft Access		
: 77	イル(E) 編集(E) 表:	示① 挿入の ツール① ウィンドウ(20) ヘルプ(11)	
: 🗅	💕 🖬 🖫 🖨 🖪	🍄 🗼 🖻 🖹 । ७ • 🖳 • 🛱 • 🖄 👀 🔮 📑 🖄 •	0 -
	_		
	/ uriage : データ/	、ース(Access 2002 - 2003 ファイル形式) 📃 🗖 🔀	
	🞢開(@) 🕍デザイ	ン(1) 🛅 新規作成(1) 📔 🚬 📴 🧱 🏢	
	オブジェクト	🕘 デザイン ビューでフォームを作成する	
	🔲 テーブル	🥮 ウィザードを使用してフォームを作成する	
	📴 לבו	ウィザードの質問に対する答えに基づいてフォームを作成	します。
	🗐 7 7 -4		
	レポート		

	🔁 マクロ		
	💐 モジュール		
	グループ		
	📓 お気に入り		
	L		

2. フォームウィザードで[売上メイン]テーブルを指定する。

フォーム ウィザード	
	フォームに含めるフィールドを選択してください。 複数のテーブルまたはクエリからフィールドを選択できます。
テーブル/クエリ(①	
テーフル。売上メイン 選択可能なフィールド(<u>A</u>):	▼ 選択したフィールド(S):
伝票番号 売上日 得意先コード 担当者コード	>>
	セル 〈 戻る (E) (法へ (M) 〉 (売了 (F))

3. 表示された[売上メイン]テーブルの全てのフィールドを選択フィールド(画面右側)に移動させる。[次へ]ボタンをクリックする。

フォーム ウィザード	
	フォームに含めるフィールドを選択してください。 複数のテーブルまたはクエリからフィールドを選択できます。
テーブル/クエリ(T)	
テーブル:売上メイン	×
選択可能なフィールド(<u>A</u>):	選択したフィールド(<u>S</u>):
	 > 伝票番号 売上日 得意先□-ド 担当前■■
	ンセル 〈 戻る(B) (次へ(W) 〉 完了(F)

4. [単票形式]を選択して[次へ]ボタンをクリックする。

フォーム ウィザード	
フォームのレイアウトを指定してください。	
	 単葉形式(①) 表形式(①) データシート(①) 帳葉形式(①) ピボットテーブル(①) ピボットララフ(①)
	 (1) 次へ(1)、 (1) 元了(1)

5. スタイルを[標準]としたままで[次へ]ボタンをクリックする。

<mark>フォーム ウィザード</mark> スタイルを選択してください。
メXX ブレンド メXX 世界地図 和紙 里絵 工業 探検由 石壁 砂岩 青写真 青写真
キャンセル 〈戻る(@) 次へ(M) 完了(F)

6. フォーム名を確認して[完了]ボタンをクリックする。

フォーム ウィザード	
73-L 049-F	フォーム名を指定してください。 第上3473 これで、フォームを作成するための設定は終了しました。 フォームを作成した後に行うことを選択してください。
[キャンセル 〈戻る個〉 次へ(1) 〉 茂7(日)

7. ウィザードで作成された[売上メイン]フォームが表示される。このときはまだ図のように小さ いフォームとなっている。

🖉 Microsoft Acces	38
: ファイル(E) 編集(E)	表示(V) 挿入の 書式(Q) レコード(R) ツール(D) ウィンドウ(W) ヘルブ(H)
i 🔟 📲 🔛 🗃	💁 🌮 🔏 🗈 🛍 🤊 🧶 🛃 🐺 🛐 🏹 🌆 🖓 🏦 🖂 🖄 - 🔡 🚆
uriage : テ	- タベース (Access 2002 - 2003 ファイル形式)
国 売上メイン	
▶ 伝票番号	0 - でフォームを作成する
売上日	ま用してフォームを作成する
得意先コード	0
担当者コード	0
↓ ↓⊐∽⊮ ◀◀	
🗎 🐴 ページ	
🛛 🔁 マクロ	
🗼 🧞 ปีว่า-ม	
グループ	「「こと」」、「こと」、「二」を一番を見
🙍 お気に入	
	■ 書式 ■ データ コインド その他 ■ 更新前処理
	■ ■

8. フォームを修正するために、[ビュー]アイコンをクリックしてフォームデザインビューに切り 替える。

🖉 Micro	soft Acces	38							
ミ ファイル(<u>F</u>) 編集(E)	表示⊙	挿入仰	書式(0)	レコード(R)	ツール①	ウィンドウѠ	ヘルプ(円)	
: <u>K</u> .	3 🖏 🖂	🛕 🍣 (X 🗅 🛍	17		Y 🗿 7	7 ∰ ▶≋)	× 🚰 🛅 🖬 •	
	uriage:デ ミ上メイン	-\$K-7	(Access	2002 - № X	2003 ファイ (^프 프 등 등	ル形式) 部 前	- 0 >	3	
▶ (1) デ 社	気票番号 5上日 発意先コード ヨ当者コード			ーでフォ [、] 更用して	ームを作成する フォームを作成	する			
רן יבע	- *: 								

9. フォームのデザインビューが表示される。

🖉 Micro	oft Access	
:ファイル(日) 編集(E) 表示(V) 挿入Φ 書式(Q) ツール(T) ウィンドウ(W)	ヘルプ(圧)
:== - [🖏 🖪 🐧 X 🖻 🎕 🚿 🤊 - 🔍 - 👷 🗏 😽	🚬 💽 🔝 📑 🖬 🗸 🞯 📮
フォーム	• • B I U = =	≣ <u>∆</u> • A • <u>⊿</u> • □ • □ •
	売上メイン:フォーム	
Aa		••• 4 •••• ••• •• •• ••
ab	€フォーム ヘッダー €詳細	
[^{XVZ}]		
=		
•	得意先コー	
	€フォーム フッター	
2		<u></u>
<u>*</u>		77-4
3		ま式 データ イベント その他 すべて
		7月八月22日 一月八後処理 一月八後処理
		更新削処理 更新後処理
		ターティー時

10. フォームの大きさを変更し、テキストボックスの位置を任意に変更する。

=	売上メイン:フォ・	-L					
		Leeepeer	2	8	4 • • • • • • • • !	5 6	• • • • • •
	€フォーム ヘッダ	·					
	◆詳細				•••••	••••••	
	伝票番号	:: 伝票番号	売上日	売上日			
Ľ	担当者与当然	: 担当者コー					
	得意先习计指	得意先コー	l				
							-
÷							-
:							
2							
:							
-							
2	• 1						
	▼ Jオ = ム J93						

11. サブフォームを作成するために、デザインビュー左にある[サブフォーム / サブレポート]アイ コンをクリックする。

このアイコンが見当たらないときは、メニュー[表示]、[ツールボックス]をクリックすると表示される。

3		8	売上メイン:フォ・	- <i>L</i>					
4				1	2	3	4	5 6	• • • • • •
abl			♥フォーム ヘッダ ■ ■#4m	<u>'</u> -					
au		_	◆ 言羊布曲						
		:	伝票番号	:: 伝票番号	売上日	売上日			
=		•	担当者 ⊒☆指	:: 担当者コー					
0		-	得意先⊒☆指	:: 得意先コー					
		:							
		1							3
-		-							
		:							
<u>a</u> •		•							
(Å)		-							
		:							
		-							
		•							
			/++-*1 -#, 1						
7	ワノオ	-6	/サノレホートレッタ	-					

12. サブフォームウィザードが表示されたら、[次へ]ボタンをクリックする。

サブフォーム ウィザード	
	サブフォームは既存のフォームから作成できます。サブレポートは既存のフ ォームまたはレポートから作成できます。また、これらをテーブルやクエリを 使って作成することもできます。 サブフォームまたはサブレポートの作成方法を選択してください。
	● 既存のテーブルまたはクエリを使用する①
	○ 既存のフォームを使用する(E)
	キャンセル 〈 戻る(B) 次へ(M) 〉 完了(F)

13. テーブル / クエリですでに登録されている[売上サブ]テーブルを指定して、すべてのフィール ドを[選択したフィールド]に移動させる。

サブフォーム ウィザード	
サブフォームまたはサブレポートに含めるフ	ィールドを選択してください。
複数のテーブルおよびクエリのフィールドを	使用できます。
テーブル/クエリ(工)	
テーブル:売上サブ	~
選択可能なフィールド	選択したフィールド
	 > 伝票番号 商品名 単位 単位 季

14. メインフォームとサブフォームがリンクする方法を選択する。この場合は、[伝票番号でリンク・・・]を選択し、[次へ]ボタンをクリックする。

サブフォーム ウィザード	
	メイン フォームとリンクするフィールドを指定する方法を選択してください。
	 ● 一覧から選択する(©) ○ 独自に設定する(型)
	キャンセル 〈戻る(B) 次へ(M) 〉 完了(F)

15. サブフォーム名を確認して、[完了]ボタンをクリックする。

サブフォーム ウィザード	
	サブフォームまたはサブレポートの名前を指定してください。 これで、サブフォームまたはサブレポートを作成するための設定は終了しま した。
	□ サブフォームおよびサブレポートの使い方についてヘルブを表示する(型)
	キャンセル 〈戻る個〉 次へ创 > <u>売て</u> (F)

16. サブフォームが自動的に作成され、図のようなフォームとなる。

17. サブフォームを任意の大きさに変更する。

圖 売	£メイン : フォーム	×
	1	^
	「フォーム ヘッダー 「詳細	
	読書号 当 伝票番号 当 伝票番号 売上日 当 着コード 一 第 コード 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	

- 18. この状態ではサブフォーム上のデータの並び順が決まっていないので、サブフォームのレコ ードソースを開いてクエリの[並べ替え]を指定する。
 - レコードソースのクエリを表示するためには、サブフォームの左上隅をダブルクリックする。

	- 1 -	担当 得意	★□:: 先□::	:#: :#:	··· 书 ··· 作	旦当者 导意并	f= • 6= •	 	+担 =狩	当者 意先	99 97	化法
_	-		● ●フ ●詳	・ 」・ オーム 細		1 ダー		• । • ₽ 7:		. 2 Д		
	2	- - -	伝票 商品	番号 □…!" 么			一位・商・商	レオー 書式 レコ [、]		デー ノーフ	-ठ र	4
			数量				··· 對	が立つ更削縮が	「替」のののの	の使用 F可 F可	用	

19. 表示されたプロパティシートの[データ]タブをクリックして、[レコードソース]の右端アイコンをクリックする。

iii フォーム		
77-4		
書式 データ イベント その他 すべて	V.	_
レコーレン ハー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		ž
フィルタの使用はい 更新の許可		
IUpat/Jate1		

20. クエリビルダ画面が表示される。

🖶 SQL 27-1	・メント:クエリ ビルダ							
先上91 (安東部市 高品コー) 高品名 設量	7 F	I	è					A M
フィールド テーブル 基ベ替え: まテ	伝真番号 売上サブ	高品コード 売上サブ	商品名 売上サブ	<u>数量</u> 売上サブ	単位 売上サブ	単価 売上サブ	枝番 売上サブ	金额 Fe
あれ 抽出条件: または			E.		Ľ			>

21. フィールド欄で[伝票番号]フィールドと[枝番]フィールドに[並べ替え]の設定を『昇順』としてビルダを閉じる。

👜 SQL ステートメント ፡ クエリ ピルダ							
たよりフ 任意番号 高島コード 商品名 致量 ▼							×
フィールド: デーーブル: デーサブル: 売生サブ	商品コード 売上サブ	商品名 売上リブ	鼓量 売上サブ	単位 売上サブ	単価 売上サブ	枝番 売上サブ	全額下に个
11.1111 東示: 推出条件: または。							¥

これにより、サブフォーム上では[伝票番号]ごとの[枝番]順にデータが並び変わる。

22. ここで一旦フォームをデザインビューからフォームビューに切り替えて見た目を確認してみ よう。確認するには[ビュー]アイコンをクリックしてフォームビューに切り替える。

Microsoft Access
: ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 挿入(P) 書式(D) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
Aa
abl (クォーム ヘッター ま)
► [] \$77-4,798-

23. フォームが表示された。このときはまだサブフォームの中に必要の無いフィールドが表示されている。

Microsoft Access	
: ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 挿入(0) 書式(0) レコード(R) ツール(1) ウインドウ(W) ヘルプ(H)	
Į≚KIJEN, ISINE NENES SINTER IN N	- 9
国売日4代	
イ 得意先コード 0 売上サブのサブフォーム	
伝票番号 商品コード 商品名 数量	

24. サブフォームのフィールド境界線をマウスでドラッグして不必要なフィールドを画面上から 消す。

-	売上メイン			
•	伝票番号 0 売上日 担当者コード 0 得意先コード 0 売上サブのサブフォーム 0			
	商品コード商品名	数量 単位	単価	
		+0	+0 16	
		/1		

25. 再度、フォームをデザインビューに戻してレイアウト確認する。サブフォームのラベルが不 適当な場所に表示されているので削除する。

■ 売上メイン : フォーム					
	4				
◆ Jオーム へッター ◆ 詳細					
伝票番号 。					
- 担当者コ+ド 担当者コ- - 得意先コ+ド 得意先コ- - 売上サブのサブフォーム					
	₫ 7ォーム				
 	フォーム				
	書式 データ イベント その他 すべて				
	レコード移動時				
	1年八次2242				
	レイロスクローム ダーティー時				
	レコード削除時				
▲フォームフッター	円100102 WEE34				

26. ここまでで一度フォームを保存しておく。フォームの[閉じる]ボタンをクリックすると次のようなダイアログが表示される。[はい]ボタンをクリックする。

47 61	フォーム ヘッダ 詳細	-			x			
位源 担当 研究	東部号 18コード 8先コード	位票番号 担当者コー 得意光コー	売上日 ;た0	オブジェクトへの	り変更を保存しますか? ハリフラナーム	۹ <u>ــــــــــــــــــــــــــــــــــــ</u>	4000	
	674-L	・・1・・・・・ ヘッダー		-6 #EM	1.74~4		*+>te#	- (1
-	◆11組 件要業長	供要素等			23 23	104 204	17.07	
	商品コード	商品コー	F.			1.01.008	売上メイン	
HF	058	前最多	1	-	フォームビューの	দল	- 単本 /オーム (ま)	
	秋量	封量	1	-	ビボットテーブルビ	- の川平町 ユーの川平町		
¢	# @	, ≢o			ビボットクランビュ スクロールルバー・ レコードセレクター 移動ボタン	(7)(1+ =]	- 13.1 水平/垂直 ま.1 ま.1	
1 67	フォームフッタ	 -			ビ切り線 サイズ自動修正。 自動中央客せ		1311	

27. フォームが保存されたら、もう一度フォームを開いてみよう。場合によっては次のようにフォームのプロパティシートが表示されるかもしれない。

マイルロ 単単回 あてい 神入り またい いっ-ドロ ラールロ ウインドつい マイルロ ユールロ ステン 神入り またい いっ-ドロ ラールロ ウインドつい よ・ は 12 (1) 2 マ ス 3 (1) マ 3 (1) マ 3 (1) (1) マ 3 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	NI709 単語をATUC
Comparent データベース (Access 2002 - 2003 ファイル RCD) (*) Comparent 2012 - 2003 ファイル RCD) (*) Comparent 2012 - 2003 ファイル RCD) (1) (1) (2	
	■位 単語 10 ■17キスト 系ャウス: 伝言書号 単式 データ (イベナ) その後 すべて (回)の 単式 (大大大) その後 すべて (回)の

28. プロパティシートの[閉じる]ボタンをクリックするとシートは消える。この後は何度フォーム を表示してもプロパティシートは表示されない。

Microsoft Access	
: ファイル(E) 編集(E) 表示(W) 挿入(P) 書式(Q) レコード(E) ツール(D) ワインドワ(W) ヘルブ(E)	9 .
uriace: データベース (Access 2002 - 2003 ファイル形式) □ X □ B 売上メイン □ X オプ ↓ 広票番号 □ 売上日	
1 1<	
2 T	

カーソルの移動順序を設定するには

表示したフォームでカーソルの移動順序を確認してみよう。 思ったとおりに移動しない場合は、[タブオーダー]で変更する。手順は次の通り。

1. メニュー[表示]、[タブオーダー]をクリックする。

Microsoft Access					
│ ファイル(E) 編集(E)	表示(v) 挿入() 書式(0) ツール(1) ウィ	νκό₩ ∧ルプ(Η			
🔳 • 🔲 📆 🎒	🔛 デザイン ビュー(<u>D</u>)	🛠 🔇 🖄 🖆			
7#-4 •	フォーム ビュー(E)				
	🎹 データシート ビュー(S)				
kantan uria	📫 ピボットテーブル ビュー(①)				
	🛍 ピボットグラフ ビュー🖤				
	新しいウィンドウでサブフォームを開く())	2 • • • • • • • 3			
ab <u>オラジェクト</u>	プロパティ(P) F4				
	 フィールドリスト(L) 				
	タブ オーダト(B)				
Image: The second se		高調			
	✓ ルーラー(R)	E担当者□~KCOUL			
🖽 🖀 🗠	✓ グリッド(G)	=得意先回一世COU			
EB 					
MAN					

2. [タブオーダー]画面の[タブオーダーの設定]で移動順序を変更して[OK]ボタンをクリックする。

タブ オーダー	? 🛛
セクション	タブオーダーの設定: 広票番号 売上日 担当者コード 得意先コード 売上サブのサブフォー、 新規入力 前隙 で行渡人 、 切刷 一 勝じる マ
OK **	ンセル 自動(A)

 次はフォームにコマンドボタンを配置して、サブフォームに[金額]フィールドを追加する。 コマンドボタン配置用のスペースをフォーム上部に作成する。 フォーム内にあるすべてのオブジェクトをマウスで範囲指定しドラッグすると一度に移動させることができる。

	売上メイン:フォーム	
		• • • •
	● フォーム ヘッダー	
	▲ 詳細	
- - - - - - - - - - - - - - - - - - -		
ŀ		✓
<		>

2. コマンドボタンを配置する。

コマンドボタンは最初の1つを作り、サイズ等が決まったらそれをコピーして貼り付けを繰 り返すとよい。

-8	■ 売上メイン : フォーム						
	「 <i>●</i> フォーム ヘッダー						
	✓ 詳細						
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	◆ 詳細 新規入力 前時 行挿入 ED刷 開じる 広葉番号 広葉番号 西上日 第2 理当者コー 伊島九コー 伊島九コー 伊島九コード 伊島二ード 伊島二ード ● ● ● ●						
- - -	♥フォーム フッター						
<							

3. 一旦フォームを表示してみる。

=	売上メイン			
•	新規入力 削除 行挿入	印刷	閉じる	
	伝票番号 1 売上日 担当者コード 0			
	得意先コード		R	
	商品コード商品名	数量 単位 ¥0	¥0	
		1		
-				
12				

4. フォームの下に余計なスペースが表示されたら、メニュー[ウィンドウ]、[フォームのサイズ で表示]を実行して、もとのサイズを表示させる。

Microsoft Access	
: ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 挿入Φ 書式(Q) レコード(B) ツール(T)	ウィンドウω ヘルプ田
i 🔟 - I 🔐 📴 🛕 🖤 🔉 🗈 🛍 🖤 I 🛞 🛃 💱 🏹 🦷	上下に並べて表示型
	左右に並べて表示①
	重ねて表示(2)
同志日心	アイコンの整列(A)
	表示しない(円)
「新規入力」 削除 行挿入 印刷	再表示(Ш)
伝票番号	フォームのサイズで表示(2) 1 uriage:デーダベース (Access 2002 - 2003 ファイル形式)
得意先コードの	✓ 2売上メイン
商品コード 商品名 数量 ▶ ¥I	単位 単価 0 ¥0

5. 元のサイズに表示された図。

-8	売上メイン				
•	新規入力	削除 行挿入	印刷		閉じる
	伝票番号 担当者コード	〕 売上日 0		R	
	得意先コード	0			
	商品コード	商品名	<u>数量</u> 単位 ¥0	<u>単価</u> ¥0	
	<u>↓</u> ↓	1 1 11 11 11	1		
$ \nu $	⊐─॑॑ः 🚺 🔳	1 🕨 🔰 🔭 / 1			

6. 続いて、サブフォームに[金額]フィールドを設定する。

サブフォームに[金額]を表示するためにはいくつかの方法があるが、ここでは基本的な方法を 解説する。

まず、フォームのデザイン画面で<u>サブフォームのプロパティを表示する(メインフォームの</u> <u>プロパティではない)</u>。サブフォームのプロパティを表示するにはサブフォームの左上隅を ダブルクリックするとよい。

プロパティの[データ]タブを選択し、[レコードソース]の右端アイコンをクリックしてクエリ ビルダを表示する。

式:

	船入力	HIP+	行挿入	(कल	m/6
常田橋	#8 \$12~/ \$12~/	佐東番号 把当者コー 神堂九コー	7L18	元日	■ 7#=1.
-	◆フォーム・ ◆詳細 征業番号	075- EE4	a 11		また、データイベント その他 すべて レコードソース 2000年の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の
-	商品コード	#1%33	-F		フィルタの使用 (乱) 東新の料料可 (乱) 単純の45寸 (割)
1	麻品名 料量	(455-8) 新量			130004年1 (31) データ入力用 (31)
1	单位	単位	1		10-10-2 10-10-2 10-10-10-2 10-10-10-2 10-10-10-2 10-10-10-2 10-10-10-2 10-10-10-2 10-10-10-10-2 10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-1

クエリビルダ画面

50 1	ステートメント:クエリ	E11-8						
- 982a.	た上サブ 二 京都寺 - 武 京 二 一 ド ふ 見 名 - 秋量 ド ド 	L _S						×
フィ テ 並 抱	(ールボ) ーブル 茶上サブ べ替え 表示 レス体 またはま く	○ 商品コード 売上サジ	商品名 先上サブ ▽	登量 売上サブ ▽	単位 売上リブ マ	単語 売上サブ ビ	枝番 売上サブ ▽	×

 クエリビルダのフィールド欄右端に下のような式を有した[金額]フィールドを追加する。式を 登録したらビルダを閉じる。

式:金額:Fix(NZ([数量],0)*NZ([単価],0))

それぞれの関数については Access のヘルプを参照せよ

률 SQL ステートメント ፡ クエリ ビノ	νğ	
売上サブ * 伝票番号 商品コード 商品名 数量 ▼		
フィールド: 単位 テーブル: 売上サブ	単価 売上サブ	 金額: Fix(NZ([数量]]0)*NZ([単価]]0))
並べ替え: 表示: 抽出条件:	V	 ✓
または		

8. フォームデザイン画面に戻ったら、[フィールドリスト]アイコンをクリックしてサブフォーム のデータソースとなるクエリのフィールドを表示させる。

a. a		71 X R 🔥	319+0	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	00	3-10 . - 11	20 533 4
	新規入力 依奈番号 担当者コード 博会会コード	府政 住京香号 担当香口一 済水ホコー	2)(/†#7) /*120	 8 8 8 8 8 8 6 5 1 4 4	× · · · · · · ·	RU3	
			♥(語 大事 全切	1	フォーム 素式 データ イベン レコードソース フィルタ 並べ替え	► その他 すべて SELECT 先上サラ	
	商品3	P 再近 商品名 致量 単位				ライル3の使用 更新の件可 前数の件可 第次の件可 テータ入力用 レコードセット レコードロック 田家間参照後	よい あい あい していえ ジイナセット してあい

9. フィールドリストの中から[金額]フィールドをマウスでドラッグしてサブフォーム上に置く。 置き場所はどこでもよい。

Microsoft Access		
: ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 挿入(P) 書式(Q) ツール(T)	ウィンドウ(W) ヘルプ(H)	
🗐 • 🖉 🖏 🎒 🐧 🖑 X 🖬 🛍 父 19 • 14 •	8 🖪 🛞 😵 👸 🚰 🖄 🗔 🕯	
	金額 ✓ MS Pゴシック	▼ 9 · B <i>I</i> <u>U</u> ≣ ≣ ≣ <u>∆</u> •
◎ 売上メイン:フォーム	📃 SELECT 🕫	売上サブ 🔽 💶 🔼
Aa	· 3 · · · · · · · · 4 · · · 伝票番号	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
abl : 新規入力 削除 行挿入	印刷商品之一下商品之一下	
	·····································	
	1 元上口 単価 枝番	
	金額	クス: 金額
	3	×
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		書式 テータ イベント その他 すべて
		コントロールソース金額 定型入力
		既定值
	金額:	エラーメッセージ
		編集ロック
		スマート タヴ
		1

10. ここでフォームを表示してみる。[金額]フィールドが表示されていることを確認する。

🖉 Micros	oft Access					
:ファイル(E)	編集(E) 表示(V)	挿入の 書式(2) レコード	(13) ツール(11) ウィンドウ	₩ ^ルプ(H)		
. 🗹 🕶 🖌	😫 🖪 🗳 🖤 🛛	x b bl ∽ 8. 2↓	🛿 🛛 🍞 🚡 🏹 (路))# IX 🔗 🧰	🛅 🕶 🛛 💂	
商品コード	▼ MS Pゴシック	• 9 • B	I U 🏠 • 🛓 • 🛓	2 • 🔲 • 🗖 •		
F						1
	売上メイン					
'	新規入力	削除 行挿入	印刷		閉じる	
	伝票番号	0 売上日				
	担当者コード	0	1	6		
	存意充コード 	U		•		
		商品名	<u>数量</u> 単位 ¥0	単価 ¥0	<u>金額</u>	
			1			
					×	
L		1 🕨 🕨 🕨 / 1				

コンボボックスの作り方

売上入力画面らしくなってきたが、まだまだ作業は続く。

次はコンボボックスの設定だ。

[担当者コード]、[得意先コード]、[商品コード]などはコンボボックスとして他のマスタから参照 できるようにしたい。

[担当者コード]のコンボボックスの作り方は次の通り。

1. [担当者コード]テキストボックスを選択して、ショートカットメニュー(マウスの右ボタンク リック)[コントロールの種類変更]、[コンボボックス]を指定する。

	売上メイン:フォーム							X
	1	• 2		• •	1 • • • 5			^
	€フォーム ヘッダー							
	✓詳細							
:	新規入力 削除	٦٢	行挿入印刷			閉じる	5	
Ľ		Ĩ						_ ≡
·	伝票番号		売上目 売上日 日 日					
11	1211111111111111111111111111111111111			1				
1	得意先只一片一一得意先口一		イベントのビルド(E)					
1			ビルド(<u>B</u>)					
<u>-</u>			コントロールの種類の変更(出)	ab	テキストゥ	「 ドックス(<u>E</u>)	1	
1:			タブ オーダー(<u>B</u>)	Aa	ラベル(<u>B</u>)			
2	· 伝票番号::::::::::::::::::::::::::::::::::::	Ж	切り取り(工)	V	リスト ボッ	クスΦ	<u></u>	
1:	· 商品3~************************************	C _D	⊐ピ−(<u>C</u>)	ł	コンボボ:	ックス(<u>C</u>)		
Ľ	- 商品名::::::::::::::::::::::::::::::::::::	2	貼り付け(<u>P</u>)		チェックボ	ックス(公)		
:	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		配置(<u>A</u>) ▶	2	トグル ポ	R)(<u>G</u>)		~
<			サイズ変更(S) ト	0	オブション	ボタン(<u>P</u>)	>	
		8	塗りつぶし/背景の色(L) ト	~	イメージ(Đ)		
		A	フォント/前景の色(N)		לאעדב ל	"タン(<u>B</u>)		

2. テキストボックスがコンボボックスに変更される。

-		
•	伝票番号:	:: 伝票番号 ::: 売上日::
:	提当者 回行指	∷ 担当者二 🕶 ::: :::::::::::::::::::::::::::::::
1	徐康先司:: #::::::::::::::::::::::::::::::::::	得意先コー

[担当者コード]テキストボックスのプロパティシートを表示し、[データ]タブをクリックする。
 次に[値集合ソース]右端のアイコンをクリックしてクエリビルダを表示する。

🚰 コンボ ボックス: 担当者コー	- ۴
担当者コード	~
書式 データ イベント その	の他「すべて」
コントロールソース 定型入力	
値集合タイブ 値集合ソース	
連結列 入力チェック	1 hs
目動拡張 既定値	IJU

4. クエリビルダで図のように設定する。[担当者コード]フィールドの[並べ替え]を『昇順』とする。

📄 SQL ステートメント:クエリ ピルダ				
起当者マスタ 				
C []	De la			<u> </u>
フィールド 担当者コード 担当者名 テーブル・担当者マスタ 担当者マスタ				
北小智力 (2000) ● 表示 マ マ				±=
または 😮				2

5. クエリビルダを閉じて[値集合ソース]に文字列が登録されていることを確認する。

🚰 コンボ ボックス: 担当者コード	Σ	K
担当者コード	v	
書式 データ イベント その他	すべて	_
コンドロールシース 定型入力 値集合なイー		
値集合ソース 値集合ソース 連結列	.) SELECT 担当者マスタ担当者コード. 1	
入力チェック	1.012	
既定值		

6. プロパティシートの[書式]タブをクリックして、図のように設定する。

設定箇所	値
列数	2
列幅	0.5;1
リスト幅	2

列幅では上記のように値をセミコロンで区切って数値のみを入力すると、自動的に 『0.5";1"』と表示される。

🚰 コンボ ボックス: 担当者コード		X
担当者コード	~	
書式 データ イベント その他	রু বি	
書い 小数点以下表示桁数	自動	
列致	2	
列留 リスト行数	0.5 ;1 8 0″	
リスF幅 可視 まっせる		
- 表示料象 左位置 上位墨	[1,1667"	
- 二心直 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	0.6458"	
同C 背景スタイル 指見の	0.1303 普通 	
日奈巳 立体表示 培思組フタイル	-2147403043 (1まみ 車組	
境界線色		
- 筑シャ┉┉ा圖 前景色 □→`ル-名	2147483640 MS ロードハック	
- フォントサイズ フォントサイズ	MGFコノリノ 9 普通	
- フォントへで		~

7. フォームを表示して動作を確認する。

==	
►	新規入力 削除 行挿入 印刷 閉じる
	単当者コード UV 身意先コード 10 HV 目1 EA
	ŦU ŦU
1	

8. 正常に動作したら、次はコンボボックスの右横に名前を表示するテキストボックスを配置する。



- 9. 追加したテキストボックスのプロパティで、[コントロールソース]を次のように設定する。 式:=担当者コード.COLUMN(1)
 - 式の先頭に『=』を忘れずに記述する。

🚰 テキスト ポックス: テキスト19	X
テキスト19 書式 データ コントロールソース	

10. フォームを開いて動作を確認する。

-8	売上メイン						
ļ	新規入力	削除 行挿入	ED店(閉	103
	伝票番号 担当者コード 得意先コード	0 売上日 ■ ▼ 長島 0 √]		
		商品名	数量 ¥0	単位) 単在 1111日 - 日本 ボッ	~類 クス: 担当者]- ⊧
					書式 デー コントロールソ 定型入力 位集合タイプ、 値集合ソース 連結列 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	タ <u>イベント</u> ース	その他 ↓ すべ 担当 テー SELI 1
		1	1		 人力チェック. 自動拡張 既定値 入力規則 エラーメッセー 使田可能 	-ÿ	
L:	╡ ⊐⊢ŀ∷∎∎	1			福集ロック スマート タグ.		()()

11. 同様に、[得意先コード]、[商品コード]のコンボボックスも設定する。 [得意先コード]コンボボックスのクエリ

🚽 SQL ステートメント ፡ クエリ	ЕЛУ 🦒				
得意先マスタ					
得意先コード 得意先名 よみ					
					~
					>
フィールド: 得意先コード	✓ 得意先名	よみ	-		<u>^</u>
テーブル: 得意先マスタ 並べ替え: 夏順	得意先マスタ	得意先マスタ			
表示: 🔽					
					×
<	1	1		1	>

コンボボックスの並び順を「よみ」としたいときは、[よみ]に[昇順]の設定を行う。

[得意先コード]コンボボックスのプロパティ

設定箇所	値
列数	3
列幅	0.5;2;1
リスト幅	4

[商品コード]コンボボックスのクエリ

ظ 🖬	QL 77-F	メント・クエリ ビルダ						
	商品マス	9						^
	: 内公コー 寿品名 単位	r 🔒						
	単価	<u>×</u>						×
< :	1							2
	フィールド	883K 💌	商品名	単位	単価	課税		^
	テーブル	商品マスタ	商品マスタ	商品マスタ	商品マスタ	商品マスタ		
	金、温え	24 AR	X			2		
	抽出条件:							
	2/34	0						2

[商品コード]コンボボックスのプロパティ

設定箇所	値
列数	4
列幅	1;2;0;1
リスト幅	4.5

[単位]の列幅を0として非表示としている

12. あらためてフォームを表示して動作を確認する。

-8	売上メイン				
•	新規入力	削除 行挿入	印刷	[閉じる
	伝票番号	0 売上日			
	担当者コード	11 🗸 長島			
	得意先コード	100 🗸 山田太郎			
	商品コード	商品名		単価 金	額:
	🕨 jiiiiii 🛛 🔍	1	¥O	¥O	0
	* 1000		¥10,000		
	1001	ハンコンB 	#12,000 ¥9,800		
	2000	ディスプレイ1	¥3,000		
	2001	ディスプレイ2	¥3,500		
	3000	ハードティスク1	¥5,000 ¥6,000		
	3002	ハードディスク3	¥7,000		
			/ 1		
			/ 1		
V	□──┟ः ▋┫	1			

イベントプロシージャの設定

サブフォームの[商品名]、[単位]、[単価]に[商品コード]コンボボックスのデータが複写されるよう、 イベントプロシージャ(プログラム)を設定する。 イベントプロシージャの設定手順は次の通り。

 サブフォームの[商品コード]テキストボックスをダブルクリックしてプロパティシートを表示し、さらに[更新後処理]イベントの設定を[イベントプロシージャ]として右端のアイコンを クリックする。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 4 5	<u></u>
新規入力 削除 行挿入 印刷	N (
伝票番号 [伝票番号 売上日 [売上 担当者コード] 担当者ニマ =担当者コードCOLUMN(3) 得意先コード [伊意先二マ =伊意先コードCOLUMN(4)	■ コンポ ポックス: 商品コー 商品コード	F (
 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	書式 データ イベント そ 更新前処理 更新後処理	の他 すべて
- 伝葉番号 伝葉番号 - 柄品ユード - 商品名 商品名 - 数量 数量	ターティー時 取り消止時 変更時 リスト外入力時 フォーカス取得時 フォーカス取得時 フォーカス取得後	
(II	フォーカス喪失後 クリック時 ダブルクリック時 マウスボタンクリック時	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

2. イベントコード登録画面が表示される。



3. 『Private Sub 商品コード_AfterUpdate()』以下に図に示すコードを記述する。



Private Sub 商品コード_AfterUpdate() Me.商品名 = Me.商品コード.Column(1) Me.単位 = Me.商品コード.Column(2) Me.単価 = Me.商品コード.Column(3) End Sub

4. コードの記述が終了したら、ウィンドウ左上隅の[表示]アイコンをクリックしてフォームのデ ザイン画面に戻り、そこから再びフォームを表示してみる。



5. [商品コード]のコンボボックスを操作して、商品名、単位、単価が書き変わることを確認する。

-8	売上メイン						
•	新規入力	削除	行挿入	印刷		閉じる	
	伝票番号 担当者コード	0	売上日 長島				
	得意先コード	100 💌	山田太郎				
		商。	品名	数量 ×0 ム	位 単価	金額:	ſ
	*			¥0	¥0	0	
)				
							-
ν			T}≭ / 1				<u> </u>

コンボボックスの設定が終了したら、その他の細かな設定を行う。

1. サブフォームの移動ボタンを消したい。



移動ボタンを消すには、サブフォームのプロパティシートを開いて、[書式]タブをクリックし、 [移動ボタン]を『いいえ』に設定する。

国 売上メイン:フォーム	
1 得意先⊒≕K ● ・・・」・・・1 ・・・ 2 ・・・」	химия
- - - - - - - - - -	🖆 7x-L
2 伝票番号 伝票番号 商品2 商品名 調 単位 ダフォーム フッター	フォーム マーク 書式 データ イベント その他 すべて 標題 売上サブのサブフォーム 既定のビュー データシート フォームビューの許可 試1 ビボットデーブルビューの許可 試1 ビボットデーブルビューの許可 試1 ビボットヴラブビューの許可 試1 マクロールパー 水平/垂直 レコードセレクタ 試1 マクロールボックス 試1 ロットドセレクタ 試1 マクロールボックス 試1 ロットビ人衆なせ 試1 ロールボックス 試1 ロントロールボックス は1 マグシート (30) ビクチャタイゴ 理の込み ビクチャタイゴ 理の込み ビクチャタイゴ 型の込み ビクチャタイン レリッゴ ビクチャタイン レリッゴ ビクチャタイン レリー

2. サブフォームの[移動ボタン]が表示されなくなった。

	売上メイン				
•	新規入力	削除 行挿入	印刷		閉じる
	伝票番号 担当者コード	〗 売上日 11 ▼ 長島			
	得意先コード	100 🗸 山田太郎]
	商品コード ▶ 1000	商品名 パソコンA	数量 単位 ¥0 台	単価 ¥10,000	金額: 0
	*		¥O	¥O	
Þ	│ ⊐∽∜: ा◀ा ा	1			

メインフォームの[移動ボタン]は残しておく。

- 3. [売上日]テキストボックスの[定型入力]を設定する。
 - 式:9999/99/99;0;_

	行挿入印	刷	
	売上目 - 把光表→~~KCOULIMN(1		テキスト ポックス: 売上日 💦 🔀
	-理当指由于PCOUDMING =得意先由于PCOUDMING	/) 売.	田 🖌
	2		書式 データ イベント その他 すべて
		一定助入	レトロールソース
番号		I /#	ジーメッセージ

4. [売上日]を中央揃えに設定する。

🔎 Micr	Microsoft Access							
: 771N	V(E) 編	集(E) 表示(⊻) 擁	■「○」「「「」」(①」「「「」」(③」)	ツール(エ) ウィ	ンドウW へ	ルプ(<u>H</u>)		
:== -	🚽 🖏	🖪 💪 👗 🖻	🖺 🟈 🌖 🗸 (- 8	🔆 😵 🛠	3 🖻 🖄	v 🛅 🏪 • 🤇	2 -
売上日	•	MS Pゴシック	• 9	• B <i>I</i> <u>U</u>		🙆 -	<u>A</u> - <u>4</u> -	
		売上メイン : フォ・	-7		, ₽	や 揃え		
Aa ab		 ● フォーム へッグ 	1 · · · ₁ · · · ·	2	. 3	4 .	5	• • • • • • •
XYZ		」 ● III # IIII # III # IIII # III		: <u> </u>				;
11 0		新規入力	削除	行挿入				 ■
		四条面与 担当者□☆指 得意先□☆指	····································	745日 - 担当者国田的 - 得意先国田的				

5. [売上日]にデータ入力して動作を確認する。

-8	売上メイン							
I	新規入力	削除	行挿入	. ED場!			閉じる	
	伝票番号	0	売上日	2007/01/01	1			
	担当者コード	11 💉	長島					
	得意先コード	100 💌	山田太郎					
			品名	樹田	-	単価	全類	
	1000	バソコンA	00-0	¥0	台	¥10,000	0	
	*			¥O		¥O		

6. フォームデザイン画面で、[数量]、[単価]、[金額]の[書式]を設定する。 式:#,##0.#

🚰 テキスト ボックス: 数量	×
数量	
書式 データ イベント その他 すべて 書式	

7. フォームを開いて書式を確認する。

	売上メイン					
•	新規入力	削除 作	市挿入 印刷		閉じる	
	伝票番号 担当者コード 組みたーード	0 売上 11 ▼ 長島				
	待息元コート 商品コード 1000	100 ▼ Ш田. 商品名 バソコンA	ALD 数量 1.5 f	単位 単価	金額: 1,500,000.	
			U.	U.		Ш
					~	
]/1			~

その他、気がついたところがあれば設定を行う。

コマンドボタンの設定

いよいよ本格的なプロシージャの設定に入る。

[閉じる]ボタン

[閉じる]ボタンの機能はそのものずばり、フォームを閉じることだ。 フォームのデザインビューを開き、[閉じる]ボタンのプロパティシートを開き、[クリック時]のイ ベントプロシージャを記述する。

€フ: €詳	ォーム ヘッダ 細	-				
新	視入力	削除	行挿入	印刷	開びる	
云票	番号	: 伝票番号	売止日 ジ	5上日		
旦当	★コ☆ド	担当者二✔	=担当者□+ド.CO	UMN(I)		
崇意 :	£⊒∽ľ	得意先□	=得意先口一下CC	UUMN(1)	■ ■ Jマント ホタン: 閉じる ■ ■	
		1 (1 ((()	2	3		
	チフォーム・	ヘッダー			書式 データ イベント その他 すべて	
	◆詳細				フォーカス取得時	
	は累番号 …		5		フォーカス取得後	
-	商品口产作品	商品コー	- 17		クリック時	3
•	商品名	商品名		亚·纳	タフルクリック時 マウスボタンクリック時	
	数量	数量	•••••		マウスボタン移動時	
ar a			*			_
					- キー解放時	

Private Sub 閉じる_Click()
On Error GoTo exit1
'フォームを閉じる
DoCmd.Close acForm, Me.Name
exit1:
End Sub

[新規入力]ボタン

[新規入力]ボタンが押されたら何を行うかをあらかじめ決めておく。 ここでは次の動作を行う。

・新規の伝票番号を[伝票番号]テキストボックスに自動的に出力する。

- ・[売上日]には自動的に本日の日付をセットする。
- ・フォーカスを[売上日]に移動させる。

伝票番号は自動的にカウントアップされる必要がある。さらに、電源を切っても最後に利用した 伝票番号はどこかで記憶している必要がある。 ということで、今回はデータベースシステムらしく伝票番号をテーブルに保存するという方法を

とることとした。

伝票番号を保存するための[伝票番号]テーブルを次のような設定として作成する。

	伝票番号 : テーブル			ł
	フィールド名	データ型	説明	
81	売上伝票番号	数値型		
	7.0			
_	241	-ルドンロハナイ		
	標準 ルックアップ	J		
	フィールドサイズ			
1	注 售			
1	小数点以下表示桁数 🛛 🛛	自動		
12	監査人力			
1	黒題 (あって) ほうしょう (あって) (なって) (な			
1	沈定1世 し			
1	ヘノリカ見り ローラー			
Ī	ログーズッセーン 直要求 し	ายส		
1	(シデックス)	乱い(重複なし)		
	スマートタグ	<u>T</u> ixee.		

テーブルを開いて、伝票番号の初期値としてとりあえず1000と入力して保存する。



フォームのデザインビューを開き、[新規入力]ボタンのプロパティシートを開き、[クリック時]の イベントプロシージャを記述する。

[新規入力]ボタンのイベントプロシージャは次の通り。

Private Sub 新規入力_Click() 'エラーが発生したら exit1 へ飛べ On Error GoTo exit1 '[売上メイン]テーブルの新規レコードに移動する DoCmd.GoToRecord,, acNewRec '伝票番号を管理する[伝票番号]テーブルを開き、今ある値に+1してその値をフォームの '[伝票番号]テキストボックスに複写する。 Dim rst As DAO.Recordset Set rst = CurrentDb.OpenRecordset("伝票番号", dbOpenDynaset, dbSeeChanges) With rst .Edit !売上伝票番号 = !売上伝票番号 + 1 .Update Me.伝票番号 = !売上伝票番号 .Close End With Set rst = Nothing '売上日を本日日付にセット Me.売上日 = Date

```
'フォーカスを売上日に移動
Me.売上日.SetFocus
Exit Sub
exit1:
'エラーが発生したらここに飛んでくる。
'通常はここにエラー処理を記述する。
End Sub
```

プロシージャの設定が終了したら動作確認を行う。

[削除]ボタン

[削除]ボタンがクリックされると次の動作が実行される。

・売上伝票の削除 (メインフォームとサブフォームに表示されたデータの削除)

[削除]ボタンのイベントプロシージャは次の通り。

Private Sub 削除_Click()
'エラーが発生したら exit1 へ飛べ
On Error GoTo exit1
'新規レコードで削除を実行しようとしたらエラーメッセージを表示して作業を中止する
If Me.NewRecord And Me.伝票番号 = 0 Then
MsgBox "削除する伝票がありません。", , "削除エラー"
Me.削除.SetFocus
Else
'削除してもよいかを問うダイアログを表示
If MsgBox("現在表示中の伝票を削除してもよろしいですか?", vbYesNo + vbInformation +
vbDefaultButton2, "伝票削除") = vbYes Then
'不要なエラーメッセージが表示されないように
DoCmd.SetWarnings False
'次のステートメントで削除を実行
'この処理ではメインフォーム上の1レコードを削除するということになる
DoCmd.RunCommand acCmdDeleteRecord
DoCmd.SetWarnings True
End If
End If
Exit Sub
exit1:
MsgBox "削除エラー"
End Sub

フォームを開いて削除動作を確認してみよう。

[削除]ボタンがクリックされると確かに画面からはデータは消えた。しかし、テーブルを直接開いてみると[売上メイン]テーブルからはデータは削除されたが[売上サブ]テーブルのデータは残っている。なぜなら、この処理はあくまでもメインフォームのレコードソースとなるレコードを削除しているに過ぎないからだ。

このようなメインフォームとサブフォームが1対多の関係でリンクしたデータを削除するときは、 通常メイン側のレコードを削除するのがセオリーである。処理としては正解だったのである。で

はなぜサブフォーム側が削除されなかったのか。

なぜなら、メインフォームとサブフォームとで、フォームとしてのリンクは行なわれていたがテ ーブル同士のリンクが行われていなかったからなのである。

[売上メイン]テーブルと[売上サブ]<u>テーブルのリンクを設定するにはリレーションシップを設定</u> しなければならない。

通常は、テーブルを定義した直後にこのリレーションシップを登録する。

リレーションシップの設定は次の通り。

1. データベースウィンドウを表示した状態で、メニュー[ツール]、[リレーションシップ]を実行 する。

Microsoft Access		
: ファイル(E) 編集(E) 表示(V) : 🗋 💕 📕 💐 🗐 💁 🖤	挿入の ツール① ウィンドウ(W) ヘル メ 🝙 🥙 スペル チェック(S)	<u> 카(H)</u> ^{F7} 중 백 23 + @ 📮
	Office Links① オンライン グループ作業①	
■ uriage:データベ オブジェクト ■ テーブル ■ テーブル ■ フォーム ■ レポート ● ページ 2 マクロ ※ モジュール グループ ■ お気に入り	ス (Ac) ゴ リレーションシックフ(B) (1) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (2) (1) (3) (1) (4) (1)	

2. リレーションシップウィンドウに[売上メイン]テーブルと[売上サブ]テーブルを表示させる。

2	Microsof	ft Acces	s					
8.5	7ァイル(E)	編集(E)	表示♡	リレーションシップ	(B) ツール	四 ウル	ドウ(<u>₩</u>)	ヘルプ(円)
: [) 💕 🔒	1	ABC	X 🖻 🛍 °		X 🗖	•	0,
	-							
		ションシッ)					
	37 1 11 17 47 11	売上メイン 云 <u>票</u> 番号 売上日 身意先コー <u>8</u> 当者コー	21 SI	売上サプ 伝票番号 商品名 数量 単位				

[売上メイン]テーブルの[伝票番号]をマウスで選択し、そのまま[売上サブ]テーブルの[伝票番号]へとドラッグすると次のような画面が表示される。ここで、[参照整合性]と[フィールドの連鎖更新]、[レコードの連鎖削除]のチェックをすべてオンにする。最後に[作成]ボタンをクリックして作業を終了する。

売上メイン	売上サブ	リレーションシップ ?
伝票番号 売上日 得意先コード 担当者コード	伝票番号 商品コード 商品名 数量 単位	テーブル/クエリ(①)・ リレーションテーブル/クエリ(図)・ 売上メイン 「売上サブ」 佐原番号 伝原番号 佐原番号 伝原番号 本レンセル 結合の種類(④)
		 ✓ 参照整合性(E) ✓ フィールドの連鎖更新(U) ✓ レコードの連鎖削除(D)
		リレーションシップの種類: 一対多

項目	解説			
参照整合性	このチェックをオンにすると関連するテーブルの整合性が保障される。たとえば、一			
	(一対多の一側のこと)側テーブル側に存在しない[伝票番号]のレコードを多側に作成			
	することはできな〈なる。多側テーブルを直接開いて変更しようとしても変更後の値が			
	一側に存在しないと拒否される。			
フィールドの連鎖更	ここをオンにすると、たとえば一側の[伝票番号]を変更すると、多側のテーブルの[伝			
新	票番号]が自動的にその値に置き換えられる。			
レコードの連鎖削除	ここをオンにすると、一側を削除した場合に多側の関連レコードが自動的に削除され			
	వ.			

[作成]ボタンがクリックされたときに次のような画面が表示される可能性があるが、これはすでに入力されているデータそのものに不整合があった場合だ。[売上メイン]テーブルと[売上サブ]テーブルを直接開いてすべてのデータを削除してから再度同様の操作を行えば問題ない。

Microso	ft Office Access
	このリレーションシップを作成して、参照整合性を設定できません。
i	「売上サプ テーブルのデータが参照整合性の規則に違反しています。 たとえば、ある社員に関連するレコードがリレーション デーブルにあるときに、こ↓社員に関連するレコードが主テーブルにありません。
V	リレーション テーブルのすべてのレコードのデータについて、関連するレコードが主テーブルにあるようにしてください。 参照整合性の規則に従わないでリレーションシップを作成するときは、「参照整合性] チェック ボックスをオフにしてください。
	ОК

5. リレーションシップの登録が正常に終了すると次のような画面となる。

Microsoft Access								
:ファイル(団	E) 編集(E) 表示(V) リレーションシップ(B) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)							
: 🗋 💕	🖬 🖏 🧉 🖉 X 🖻 🟝 🏪 📅 🗱 i 🗙 i 🧰 🔭 🕡 🖕							
	リレーションシップ							
	た上 た三 売上日 得意先コード 担当者コード 単位 ケ た た た 日 日 で 二 の の 品 コード 両 品 コード 一 の の 品 コード 一 の の 品 コード 一 の 品 コード 一 の の 品 コード 一 の の 品 コード 一 の の 品 コード の 品 コード の 品 コード の 品 コード の 品 コード の 品 コード の 品 コード の 品 コード の 品 コード の 品 コード の 品 コード の 品 コード の 品 名 の 数 型 世 位 、 ひ し 日 名 の 数 型 世 位 、 の 日 の 日 の 日 の 一 「 世 一 で の 日 の の 日 の の 一 「 一 一 「 一 「 一 「 一 「 一 「 一 「 一 「 一 「 一 一 一 「 一 一 一 一 「 一 「 一 一 一 「 一 一 一 「 一 「 一 一 一 一 一 一 一 一 「 一 「 一 一 「 一 「 一 一 一 「 一 一 一 「 一 一 一 一 一 「 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一							

 フォームを開いて[削除]ボタンをクリックし、該当するデータがすべて削除されているかを確 認する。

[印刷]ボタン

[印刷]ボタンは伝票を印刷するためのボタンだ。ボタンがクリックされると、『印刷しますか?』 というダイアログを表示し、[OK]ボタンがクリックされると印刷が実行される。 [印刷]ボタンのイベントプロシージャは次の通り。

```
Private Sub 印刷_Click()

'印刷中に不用意なエラーメッセージを表示させないための制御

On Error Resume Next

'表示中のデータを保存してから印刷を行う

DoCmd.RunCommand acCmdSaveRecord

If MsgBox("表示中の伝票を印刷しますか?", vbYesNo + vbInformation + vbDefaultButton2, "印刷") =

vbYes Then

'次のステートメントで印刷が実行される

DoCmd.OpenReport "納品書", acViewPreview, , "[売上メイン].[伝票番号]=forms![売上メイン]![伝票

番号]"

End If

End Sub
```

[行挿入]ボタン

[行挿入]ボタンがクリックされると、サブフォーム上のカーソル位置に行が挿入される。 [行挿入]ボタンのイベントプロシージャは次の通り。

```
Private Sub 行挿入_Click()
'行挿入を行うには枝番作成プロシージャが動作していなければならない。
'枝番作成プロシージャはこのファイルのトップに登録されている
On Error GoTo 挿入失敗
  'メインフォームの新規レコード行の入力途中では行われない
   If Me.NewRecord And Me.伝票番号 <> 0 Then
      Exit Sub
  Else
      '作業用のレコードセットと変数を定義
      Dim rst As DAO.Recordset, 挿入番号 As Single
      'サブフォームの明細データをレコードセットに代入
      Set rst = Me.売上サブのサブフォーム.Form.RecordsetClone
      '明細行の確認
      If rst.RecordCount = 6 Then
         Beep
         MsgBox "明細行は6行までです!!",, "確認"
         'レコードセットを閉じる
         rst.Close
         'メモリーを開放する
         Set rst = Nothing
```

```
'プロシージャを抜ける
         Exit Sub
     End If
      '新規レコードかどうかの確認
      If Me.売上サブのサブフォーム.Form.NewRecord = True Then
         Beep
         MsgBox "新規レコードでは行挿入できません。"
         rst.Close
         Set rst = Nothing
         Exit Sub
      End If
      With rst
         'サブフォームの現在の位置をレコードセットの位置と同期させる
         .Bookmark = Me.売上サブのサブフォーム.Form.Bookmark
         'レコードセットに新規レコードを追加
         .AddNew
         ![伝票番号] = Me.伝票番号
         'レコードセットの[枝番]に、前行の枝番に 0.01 を加算した値を代入
         ![枝番] = .AbsolutePosition + 0.01
         'レコードセットを更新
         .Update
         '並べ替えを実行するためにリクエリする
         'これにより画面上では並べ変りが行われ、
         '新規レコードがいかにも挿入されたように見える
         Me.売上サブのサブフォーム.Requery
         '枝番を再度振りなおす
         Call 枝番作成
         'フォーカスをサブフォームにセット
         Me.売上サブのサブフォーム.SetFocus
         'さらにフォーカスを商品コードにセット
         Me.売上サブのサブフォーム.Form![商品コード].SetFocus
         'レコードセットを閉じる
         .Close
     End With
     'メモリを開放
     Set rst = Nothing
  End If
  'プロシージャを抜ける
  Exit Sub
挿入失敗:
   MsgBox "挿入処理は無効です。"
End Sub
```

行挿入の原理は次の通り。

1:行挿入を行う前に次のような明細が存在していて、現在のカーソルは2行目にあるとする。

売上明細行	枝番
明細 1	1
明細 2	2
明細 3	3

2:実は、Access では(多くのデータベースでも同様)行挿入という概念はなく、行追加という 手段しか存在しない。行追加が実行されると次のような状態となる。

売上明細行	枝番
明細 1	1
明細 2	2
明細 3	3
空白行	1.01

3:リクエリでテーブルの並べ替えを実行すると、見かけ上の行挿入が完了する。

売上明細行	枝番
明細 1	1
空白行	1.01
明細 2	2
明細 3	3

4:再度枝番を振りなおす。

売上明細行	枝番
明細 1	1
空白行	2
明細 2	3
明細 3	4

行挿入プロシージャの途中に明細行をカウントして、指定した行数に達した場合に処理を中止す る設定となっている。

このレコード数のチェックは、サブフォームの[挿入前処理]イベントでも次のように設定しておか ねばならない。

Private Sub Form_BeforeInsert(Cancel As Integer) 'この後のプログラムでエラーが発生したら exit1 へ飛べ On Error GoTo exit1 '作業用レコードセットを宣言 Dim rst As DAO.Recordset '現在のサプフォームの状態を rst に代入 Set rst = Me.RecordsetClone With rst If .RecordCount = 6 Then

Beep
MsgBox "明細行は6行までです!!",, "確認"
'cancel に True を代入すると行挿入が無効となる
Cancel = True
End If
'レコードセットを閉じる
.Close
End With
'メモリーを解放
Set rst = Nothing
exit1:
End Sub

納品書レポートの作成

ここではもっともシンプルなレポート作成方法をご紹介する。 はじめにレポート作成で必要となるクエリを作成する。クエリ作成手順は次の通り。

データベースウィンドウの[クエリ]を選択し、[新規作成]をクリックする。
 [新しいクエリ]画面で[デザインビュー]を選択して[OK]ボタンをクリックする。



2. [テーブルの表示]画面で[売上メイン]、[売上サブ]、[得意先マスタ]、[担当者マスタ]の各テー ブルを追加する。

	2	3 0 F		× • • •
フィールや テーブル 立べ留え、 日本 小学 しつん 留え、 日本 小学 しつん 東示 福田島仲 または く	アーブルの表示 アーブル クエリ 両方 	(2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)		. B

 [売上メイン]、[売上サブ]テーブルからすべての項目をフィールド欄に登録する(ただし、[売 上サブ]テーブルの[伝票番号]だけは除外する)。続けて、[得意先マスタ]テーブルの[得意先名]、 [担当者マスタ]テーブルの[担当者名]を追加する。

e b191 : XXD19									
 表上メイン 伝義番号 先上日 神愛充コード 担当者コード 	1 90 (法票者 商品) 款量		12元マスク 唐年F 意先名 み	担当者マスク 	Q			× N	
フィールド 在語 テーブル 基ペ替え 表示 推出表は よ く	(番号 (341) (2)	売上日 売上メイン ビ	得意先コード 売上メイン ✓	初当者コード 売上メイン ビ	剤品コード 売上サブ ▽	第二日 第二日 「ア	敬量 売上サブ 12	単位 売上サブ マ ン	

4. フィールド欄に金額を表示するためのフィールドを追加する。この作業は[売上サブのサブフ ォーム]フォームで作成した[金額]フィールドと同じである。式をそのまま複写してもよい。

担当者マスタ	
* 担当者コード ^{担当要を}	
1231840	
	<u> </u>
担当者名 担当者マスタ	金額: Fix(NZ([數量])*NZ([単価]))
8	(P)

5. [売上メイン]テーブルの[得意先コード]から出ているリレーションを示すラインをダブルク リックして[結合プロパティ]画面を表示し、2番目を選択して保存する。

売上メイン 売上サブ	第四十二十日	
* 伝票番号 売上日 得意先コード 担当者コード	 左のテーブル名(L) 右のテーブル名(R) 売上メイン 存意先マスタ 左の列見出し(L) 宿意先コード 7億先コード 	
フィールド 伝票番号 売上日 テーブル 売上メイン 売上メイン 東示 抽出条件:	 ○1: 両方のテーブルの結合フィールドが同じ行だけを含める。 ○2: '売上メイン'の全レコードと'得意先マスダ の同じ結合フィールドのレコードを含める。 ○3: '得意先マスダ の全レコードと'売上メイン'の同じ結合フィールドのレコードを含める。 ○3: '得意先マスダ の全レコードと'売上メイン'の同じ結合フィールドのレコードを含める。 	- Kt

6. 同じ要領で、[担当者コード]から出ているラインをダブルクリックして[結合プロパティ]画面 を表示し、2番目を選択して保存する。

売上メイン 売上サブ	former and former	
*	結合プロパティ	
伝票番号 <u>1 ∞</u> 伝票番号	- 左のテーブル名(1)	右のテーブル名(R)
	- 売上メイン 🔽	担当者マスター
(付息元コート) ●●●●● 商品名 相当者コード ●●●●● 数量	左の列見出し(C)	右の列見出し(0)
	 ○1: 両方のテーブルの結合フィールドが ○2: 売上メイン'の全レコードと'担当 けを含める。 ○3: '担当者マスダ'の全レコードと'売けを含める。 ○4: 「を含める。 ○5: 「たるかる。 	7回じ行だけを含める。 者マスダ の同じ結合フィールドのレコードだ 上メイン の同じ結合フィールドのレコードだ ブ セル 新規作成(1)

7. 操作が正常に行われると次のような画面となる。

🧧 約品書発行用クエリ: 選択クエリ								
売上メイ * 伝票番号 売上日 得意先コー 担当者コー	- ド - ド - ド	サブ 番号 コード 名 マ	骨意先マスタ 積先コード 意先名 :み	<u>担当者マスタ</u> * 担当者コード 担当者名				
フィールド: テーブル: 並べ替え: 表示: 抽出条件: または:	法票番号 売上メイン ▼ ▼	○売上日 売上メイン マ	得意先コード 売上メイン ✓	担当者コード 売上メイン 1	商品二			

8. 出来上がったクエリを表示してみてデータが正常に表示されるか確認する。

æ	納品書発行用クエリー	選択クエリ								
	伝素番号	売上日	得意先コード	担当者コード	商品コード	商品名	穀量	単位	単価	秋香 (
•	1005	2007/01/12	100	10	1000	パンコンA	1	1 台	¥10,000	0 山田
	1007	2007/01/12	100	10	1001	パンコン日	#1	0 8	¥12,000	0 山田
-	1007	2007/01/12	100	10	1002	NYEXC	*	2 18	¥9,000	0 ШB
*										
			N 1							
			-12							
L	⊐-K N (•)	1 [1 [1]	▶ # / 3	4		-				N

9. クエリに名前を付けて保存する。

次はいよいよレポートの作成だ。

Accessのレポート作成にはいろいろな方法があり、今回ご紹介する方法はその中の一つの方法である。初心者のためのレポート作成ウィザードも用意されているが、あれなどは初心者をよけいに惑わせる要素があると思われるのでお勧めはしない。 レポートの作成方法は次の通り。

10. データベースウィンドウの[レポート]を選択し、[デザインビューでレポートを作成する]をク リックする。

🖉 Mi	crosof	t Acces	5										
: 7M	(NO)	編集(E)	表示	◎ 挿入	り ウールロ) 9421	107W	~1670	p				
10	i 🖌	B. A	Q. 1	7180	2 9	12.	- 66	23 00	물목	21-	0		
	🗐 uris	age : 7 -	95	-X (Acce	ss 2002 ·	2003	2713	形式)					
	₫ ,71	(E1-(E)	ŹŦ	パン(2) 省	新規作成()	0 X	≞ <u>a</u> 13	· 📴 🗰					
	オ	プジェクト		2 F74	לביים א	化一下发作用	成する						
		テーブル		うけ	-ドを使用し	し、ボートす	相信成す	& r∵zkn – ik	ゴントロール	. 70/5	ノを指定	してしまー	「赤作式」ます。
	đ	クエリ		(1) 納品	練習用	ELUBARY.		2111 76		7470	1 218 42	00000	1 2119208-96
		フォーム											
	13	レポート											
	1	ページ											
	2	তেইত											
	22	モジュール											
		グループ											
		お気に入り											
	-	_											

11. レポートデザイン画面が表示される。



12. レポートのプロパティシートを表示し、[レコードソース]で先ほど作成したクエリを指定する。



13. 図のようにクエリのフィールド一覧がウィンドウに表示される。

レポート1 : レポート	X - 約品書発行用クエリ X
$(-\infty, -\varepsilon_1, -\varepsilon_2, -\varepsilon_3, -\varepsilon_2, -\varepsilon_3, -\varepsilon_3, -\varepsilon_3, -\varepsilon_3, -\varepsilon_3, -\varepsilon_4, -\varepsilon_3, -\varepsilon_3,$	< 5 < 5 < 7 < 1 < 7 < 6 < 6 / (行曹兼号)
●ページ ヘッダー	<u>一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一</u>
	得意先コード
◆詳細	
	数里
	得意先名 🛛 🖌
	☆ レポート
	書式 データ イベント その他 すべて
	レコードソース
	並べ替え
Si Si Si	並べ替え適用

14. 最初にグループや並べ替え設定を行う。

通常、データを印刷する場合にはどういったグループで印刷するか、どのような順序で印刷 するかを指定しなければならない。画面上部の[並べ替え/グループ化の設定]アイコンをクリ ックする。

ツール① ウィンドウѠ ヘルプ(出)
er - 1 😣 🔳 🔀 🔄 🐳 🔛 🚰 - 1
▼ B I U ■ 単本ベ替え/グループ化の設定 - ■

15. 印刷順序をここで指定する。

最初に[伝票番号]を登録し、[グループヘッダー]、[グループフッター]の表示を『はい』とす る。

	ν#~-h1 : ν#~-h						
	CO 61 63 64 63 61 63	. 2	<pre>ci c4 ci ci ci c5 ci ci ci ci ci</pre>	伝票番号			
	●ページ ヘッダー	(罪並べ替え/グループ化					
		フィールド/式	並べ替え順序	▲ 担当者コード			
	●伝票番号 ヘッダー	(注▶ 伝票番号	异順	商品コード			
12				荷品名			
	◆詳希田			単位			
				単価			
			ブルーゴ プロパティ				
2		1211 - 2 · 12 · 1+1 ·	5/0 5 5 4 15 4	17.857.40			
1		クループへッター はい グループフッター 原職					
		グループごと 各値	このグループにフッターを表示 するかどうかを指定します。	ī			
-		グルーブ間隔 1					
3				シトその他			
-			レコードソース				
12			フィルタ				
			ジャルシス進出 並べ替え	·····			

16. 同じように[枝番]を2番目に登録してこの画面を閉じる。

信 並べ替え/グルーナ化						
	フィールド/式	並べ替え順序				
[[]	伝票番号	昇順				
Þ	査部 ┬ ─ ▶	昇順				
	1					
\vdash		×				
		グループ プロパティ				
グググク同	ループヘッダー しいえ ループフッター しいえ ループごと 各値 ループ間隔 1 ーページ印刷 しない	並べ替えまたはグループ化の 対象となるフィールドを選択す るか、または式を入力してくだ さい。				

伝票番号ごとの枝番順に印刷されるということになる。

17. レポート画面には[伝票番号ヘッダー]部と[伝票番号フッター]部が追加されていることがわ かる。

[ページヘッダー]、	[ページフッタ-	-1は今回必要ないの	で高さを0としておく。

19	レポート1 : レポート		区 目 約品書発行用クエリ 🛛				
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						
	● ページ ヘッダー 売上日 得意告コード						
			担当者コード				
100	● 伝票番号 ヘッダー						
			對品名				
100	◆詳細						
		【潭 並べ替え/グルーナ化					
3		フィールド/式	並べ替え順序				
5		(注) 伝票番号					
્ર							
1							
1							
-			リレーブ プロパティ				
2		グループヘッダー はい					
2		グループフッター	このグループにフッターを表示				
2	● 伝 三番号 フッター	グループ間隔 1	するかどうかを指定します。				
		同一ページ印刷しない					
-	● ページフッター						
્			v				
<							

18. フィールド一覧ウィンドウから[伝票番号ヘッダー]部に必要なフィールドを登録する。 マウスのドラッグ&ドロップ操作を使うと効率的だ。



19. レイアウトを整える。

	-1 2		\$	1 * * * 7 * * * 1 * * * * *
ページへッ 伝言番号へ	ダー ッダー			
(東番号)		納品書	先上日 担当参名	先上日 担当者名
意先名	得意先名 得意先名			■ 納品書発行用りエリ
. IXia				<u>売上日</u> 得意先コード

20. 同様に[詳細]部に必要なフィールドを登録する。



21. [詳細]部のレイアウトを整える。

1	レポート1:レポー								
	$\sim \sim \sim < 1$	(b) < 1 < b) < 2	- co - co - câ		- co: ca	CO - C5 - C0	() () (6 ()	- 61-60-6	7 8 - 📩
	 	-							
01 300 M	[伝票番号] 	伝票番号 '		納品書			売上日: 担当者名	売上日 担当者3	2
	得意先名	得意先名		得意先コ`					目 納品書発行用クエ! 得意先コード
	<詳細 …商品コード	商品名		数量	単位	単価	金額		担当者コード 商品コード 商品名
				Ň					数量

22. [詳細]部の高さを調整する。ここの高さが伝票の1明細の高さとなる。

1					
- I					
- J		•••••••••••••••••••••••			
	◆詳細				
•	☆商品コード 商品名	数量	▲単位 単価	金額	
	€ 伝票番号 フッター		Ŧ		
- II					

23. [伝票番号フッター]部にテキストボックスを3つ登録する。 これらは、商品計、消費税、総合計を表示するためのものである。

15	レポート1:レポー	-}							<mark>(日 約品</mark> 目
		Lei ej er el	sa ga a	lerej ere	4 • • • 1	5			- 得意先コー 担当者コー
-	€ページへッダー €伝票番号へッダー	- zī —							商品コード 商品名
	伝票番号	伝票番号]	納品書			売上日: 担当者名	売上日 担当者名	数量 単位 単価
ः •	得意先名	得意先名		得意先コ					枝番 得意先名 担当者名
i									金額
•	◆ ##### 商品コード ◆ 伝票番号 フッタ	商品名		数量	単位	単価	金額		
						777	13: 非連結		
80 - 83						サキス) テキス)	*10) *17) 即建結		-
LI	∢ページフッター				1				

24. ラベルを変更する。

商品計	非連結
消費税	非連結
総合計	非連結

25. 登録したテキストボックスに式を登録する。

商品計を表示するためのテキストボックスに次の式を登録する。 式:=Sum([金額])

テキストボックスの名前を『A』に変更する。

消費税を表示するためのテキストボックスに次の式を登録する。 式:=Fix([A]*0.05) テキストボックスの名前を『B』に変更する。 総合計を表示するためのテキストボックスに次の式を登録する。

式:=[A]+[B]



26. 売上明細として必要なラベルを登録する。

- (B- (J- (B- ($(1 c) c_1 c_2 c_3 c_1 c_1 c_2 c_3 c_1 c_3 c_4 c_6 $	• ∈3 <• < 1 <• <4	co en co e s e	c < 1 < c < 6 < c	en en e ? en en e	伊恵 担当
<ページ へッダ						商品
◆伝票番号へ	ダー					商品
伝票番号	伝票番号	納品書		売上日:: 担当者名:	売上日 担当者名	数1 単位 単位
得意先名:	得意先名	得意先コ·				得意担当
商品⊐→/* ●詳細	商品名:	数量	単価	金額	2	1 212 10
: 商品コード € 伝票番号 フッ	商品名 ター	数量	単位 単価	金額		
			(R.) 1944 1944	朝品計 =Sum([金額] 肖費税 =Fix([金額]* 総合計 =[A]+[B]	0.05)	
<i>€ページ フッタ</i>					5≮⊪23	
				ラベル23 書式 テ	-タ イベント その他] च_

27. ここでレポートの用紙サイズ、余白を確認する。

この作業はレポート作成の一番最初に行うのが一般的だが、今回は特別に後回しにした。こ こでは余白を最小値にする。

余白	ページ	レイアウト	
余伯 (インチ) 上①: 02 下個: 02 左④: 02 左④: 02 右@: 02		BUELS	
「データのみ印刷」	<u>730)</u>		

- 28. 用紙サイズと使用するプリンターなどを確認する。
 - ここでは A4 サイズを指定する。 ページ設定 **?** X ページ レイアウト 余白 Ŕ 印刷の向き A [⊙]縦® \mathbf{A}^{O} 用紙 用紙サイズ(Z): A4 210 × 297 mm v 給紙方法(S): 自動選択 v 印刷:レポート1- 通常使うプリンタ(D) ○その他のプリンタ(P) OK キャンセル
- 29. ここまでのところで、レポートをプレビュー表示して見よう。 レポートをプレビュー表示するには画面左上の[ビュー]アイコンをクリックする。



30. レポートが表示される。

国 レポ	-ኑ1 ፡ レポート							
2	伝票番号:	1007	納品書		売上日: 担当者名:	Ŧ	2007/01/12	^
	得意先名:	山田太郎	100					
	商品コード 1002 1001 1000	商品名 バッコンC パッコンB パッコンA	数量 ¥2台 ¥10台 ¥1台	単価	全額 ¥9,800 ¥12,000 ¥10,000 商品計 消費税 総合計 150100	19600 120000 10000 149600 500		
	伝票番号:	1008	納品書		売上日: 担当者名:	金田	2007/01/12	
	得意先名:	鈴木一郎	102					
~-57	商品⊐ード 3000	商品名 ハードディスク1	数量 ¥3台	単価	金額 ¥5,000	15000		> 10

31. よく見ると、1ページに2枚の伝票が続けて表示されていることがわかる。
 これを1ページに1伝票づつ印刷する設定に変更する。
 [伝票番号フッター]部のプロパティを表示し、[改ページ]を[カレントセクションの後]に設定する。



32. レポートをプレビュー表示して確認する。

◎ レポート1 : レポート			
伝票番号: 1007	納品書	売上日: 担当者名: 王	2007/01/12
得意先名:山田太郎 商品コード 商品名 1002 パンロンC 1001 パンロンB 1000 パンロンA	100 数量 ¥2台 ¥10台 ¥1台	単価 金額 ¥9,800 19600 ¥12,000 120000 ¥10,000 10000 商品計 149600 谐毒和 500	
		総合計 150100 総合計 150100	
			×

33. あとは細かな設定となる。

金額を表示するテキストボックスの書式設定を変更し、文字位置なども右揃えに統一する。 書式設定はフォームの作成時にも登場した次の書式を利用する。 書式:#,##0.#

		· ·			
数:	■ 単位	単価	金額		
		傳品計 消費税 総合計	=Sum([金額]) =Fix([金額]*0.05) =[A]+[B]		
	☞ 複数のオブジェ:	りトを選択中		×	
			×		
	書式 データ・	イベント その他	すべて		×
	書式 小数点以下表示桁	数	#,##0.# 」 自動	× .	>
	可視 重複データ非表示 印刷時拡張		ไม่เ) ไปไปวิ ไปไปวิ		

ウンドウジ ヘJ	17日) 1日日 1日日 日日 日日 日日 日日 日日 日日 日日 日日 日日 日日 日	-∆ ∆⊿	**** ** [•] ••	
3	4	5	, 6 .	
納品書			売上日日	売上日
持意 无口			2240	
数量		単価	全額	
量模	単位	単倍	全額	
			AB品計 Sup A費板 FFG(全) 認合計	(200) ()-0.05 (A)-(B)

34. 再度レポートをプレビュー表示して画面を確認する。

-ト1:レポート					L
伝票番号:	1007	納品書	売上日: 担当者4	£: 王	2007/01/12
得意先名:	山田太郎	100			
商品コード 1002 1001 1000	商品名 パンコンC パンコンB パンコンA	数量 2. 台 10. 台 1. 台	単価 金額 9,800. 12,000. 10,000.	19,600. 120,000. 10,000.	
			商品計	149,600.	
			消費税	500.	
			総合計	150,100.	

35. 最後にレポートに名前を付けて保存する。